

隆泉苑

—日本の建物を知る—



ようこそ、佐野美術館・隆泉苑へ

日本の建物にいっぱい詰まっている、日本人の知恵や工夫を発見しよう

どこの写真が、隆泉苑の建物の中からさがしてみよう。見つけたら写真と部屋を線でつなぎ、写真についたページを開いてみよう。



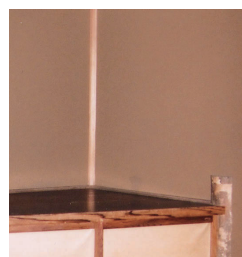
(5) P7



(7) P9



(1) P3



(3) P5



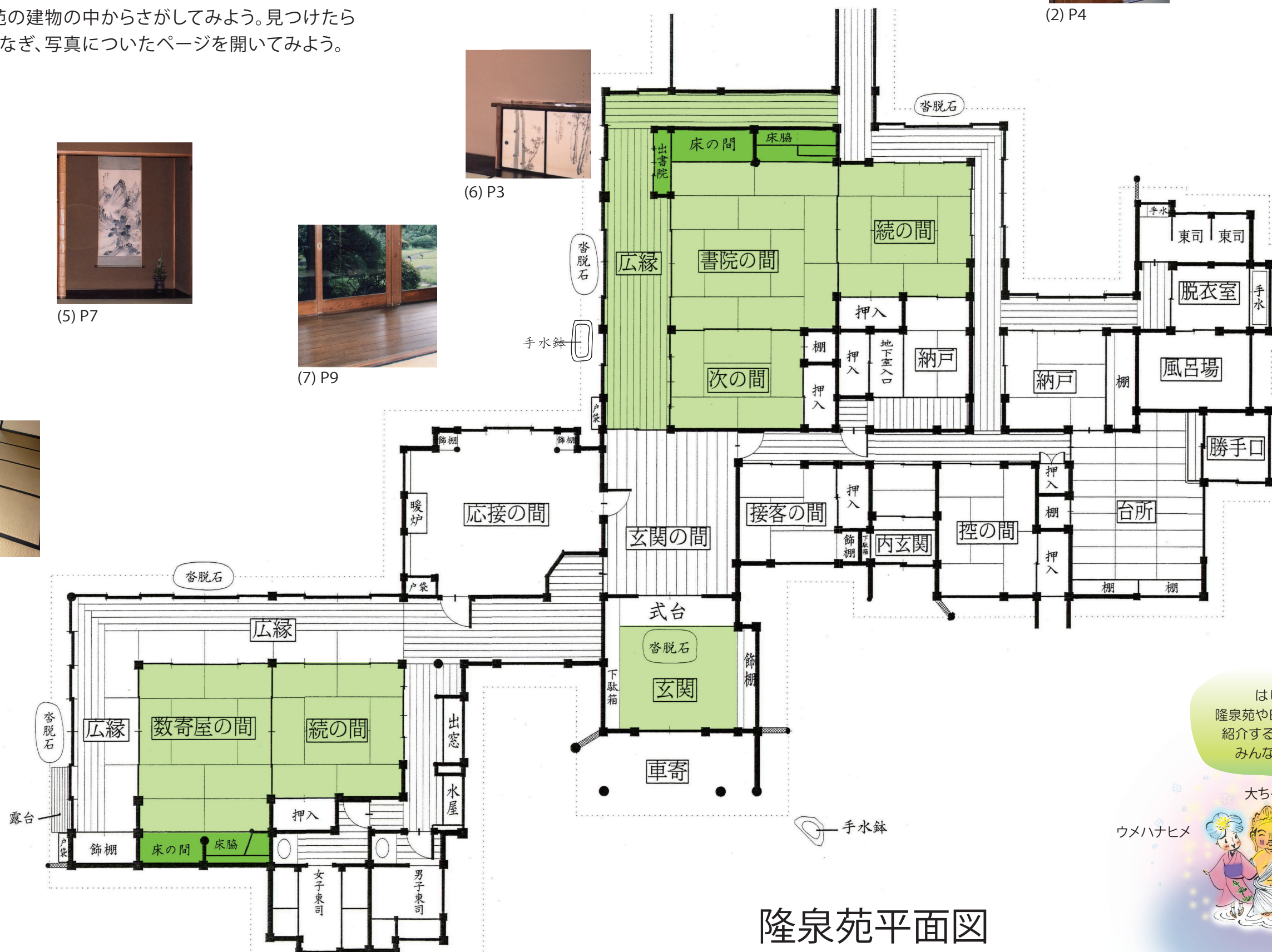
(6) P3



(2) P4



(4) P6



隆泉苑平面图

はじめまして！
隆泉苑や日本の文化のことを
紹介することになりました
みんな、よろしくね！

大ちゃん

ウメハナヒメ

隆ちゃん



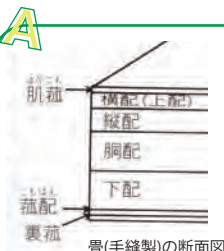
さて三人の正体は…？
『隆泉苑ガイド2』で明かされます

畳に座ってみよう



畳はどんな感触？音で表してみよう。

Q 畳って
何でできてるの？

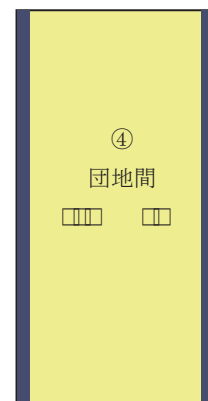
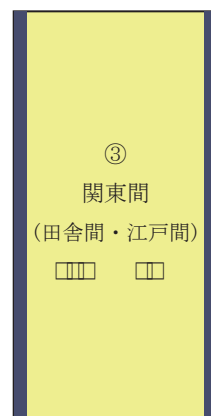
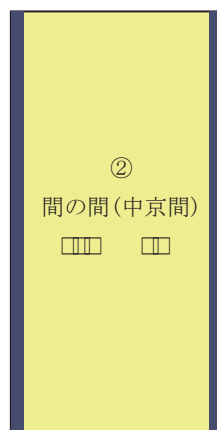


A 畳の表は**い草**と麻糸で織られています。その中「床(とこ)」といいますは、稲の藁(わら)と藁(こも)を縦横、交互に重ねています。

★最近ではダニがわからないように、表をビニールで編んだり、床を発泡スチロールでつくったりしているものもあります。

Q 畳にはいろいろな
大きさがあるの？

A 畳の大きさが決められたのは、江戸時代に入ってからです。関西間は関西地区で、関東間は東北、関東、東海地方で、間(あい)の間は名古屋地方で使われますが、今はあまり地域の違いがなくなっているようです。団地間は、今のマンションやアパートの部屋の大きさに合わせて生まれました。



※寸法はおおよそのものです。

隆泉苑の畳はどの大きさ？
足で測ってみよう

分かったら、当てはまる番号に○をつけよう。
① ② ③ ④

和の部屋豆知識① 畳の歴史

今は、和室に畳は欠かせないものですが、1000年前の平安時代は、身分の高い人たちが座るところなどに敷かれていました。部屋全体に敷かれるようになったのは鎌倉時代から室町時代にかけてです。畳が一般庶民の家で使われるようになったのは、江戸時代の中頃からですが、農村まで広まったのは明治時代以降です。

襖や障子を動かしてみよう



開けたときと閉めたときで、部屋の雰囲気は変わるかな？

開けたとき

閉めたとき

！ 襖や障子の開け閉めは、
紙のところを持たないこと。
引き手を持とう。

西洋の建物は石などでつくられた壁で区切られて、部屋の大きさは変わりません。それに対して、日本の建物は梁(はり)、桁(けた)など、木の柱を縦横に組み合わせ、その間に襖や障子が入っています。襖や障子をはめたり、はずしたりすると、部屋の大きさが自由に変わります。屏風(びょうぶ)や衝立(ついたて)も、部屋の仕切りに使われていました。

Q 襖や障子には何が
はってあるの？

A 木の棧(さん)に、
和紙(わし)をはってあります。

Q 和紙は何から
できているの？

A 日本で採(と)れる植物からできます。植物の繊維(せんい)を煮(に)て、たたいて細かくしたあと、繊維同士をつなぐためトロロアオイの根をまぜて、紙漉機(かみすき)で漉いて作ります。



←紙を漉いているところ

和の部屋豆知識② 和紙の原料いろいろ

楮(こうぞ)

繊維が長くて丈夫。手漉き和紙の多くがこの原料でつくられる。岐阜の美濃(みの)紙、福井の越前(えちぜん)紙、高知の土佐(とさ)紙が有名。

雁皮(がんび)

光沢があり、なめらかな紙ができる。細い字を書くのによい。栽培がむずかしく原料が多く採れないので、高級紙となる。

三桠(みつまた)

繊維が短く目が細かい。明治以降お札(さつ)の紙の原料の1つとして使われる。なお伊豆半島は三桠の有数の自生地。

壁にふれてみよう



どんな手ざわり? 言葉で表してみよう

壁はそっとさわろう。
手のひらでこすったり、
つめで引っかいてはいけないよ

この壁は
何でできてるの?

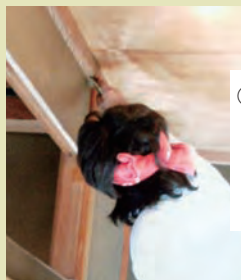


土です。半年くらいねかせて発酵(はっこう)させます。
また、部屋の雰囲気にあわせて土に砂や藁(わら)を多く入れることもあり、その時は、土がひび割れるのを
おさえる「スサ」(稲藁(わら)を細かくしたもの)、海草
の「角又(つのまた)」あるいは「ふのり」を加えて練ります。
それから竹を藁で編んだものや杉板で組んだものを下地に、何層も塗り重ねていきます。

例) 隆泉苑数奇屋の間の土壁塗 主な工程

①下地

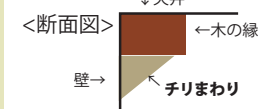
②荒壁塗



③すみだし
塗る土の厚さを決める
ため、四方の木の縁(ふち)
の内側に墨(すみ)で
つける

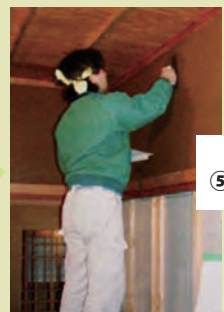
④チリまわり

木の縁につけた印に合わせて土を
めぐる。これは壁と木の縁と
の間の補強、木の縁に対して平行に
土を塗るための、じょうぎの役 目をする。



⑤中塗り

⑤上塗り



⑥完成



協力: 初又曜之氏・初又貞光氏

廊下を歩いてみよう

廊下は何でできているの?

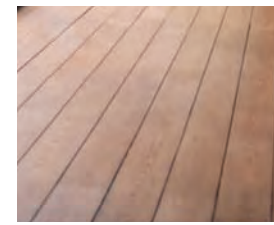
木です。日本は温暖で雨が多いため木が育ちやすく、国土の70%は森林におおわれています。
日本は昔から木を建物の材料として使ってきました。
近年、安くて大量に輸入できる外国の木材を使うことが増えていますが、最近、日本の木の良
さが見直されてきています。

どんな木が
使われているの?

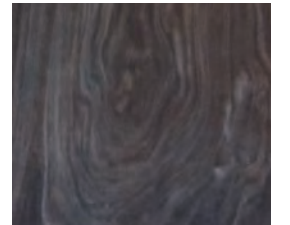
隆泉苑のどこに、どんな木が使われているか、探してみよう。見つけたら()
に書いておこう。



すぎ
杉()
日本で最も多く植林される。
柱、天井、障子、襖の建具など幅
広く使われている。柔らかく軽い
ので加工しやすい。独特の香り
がする。



ひのき
檜()
古くから最良の材料とされ、格
式(かくしき)の高い座敷の柱や床
として好まれる。また耐水性がある
ので風呂場にも使われる。



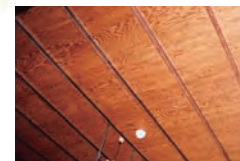
けやき
欒()
木目(もくめ)がくっきりと出て美
しい高級材。強くてくさりにくい。
耐水性もある。

他に、檜(なら)・松(まつ)・栗(くり)などがある。

天井も見えてみよう

木目をいかしたデザインがすてきだね

次の天井が部屋のどこにあるかがしてみよう。見つけたらどこにあったか()に書いておこう。



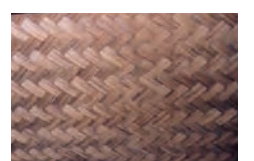
竿縁(さおぶち)天井
()

竿状の角材や小丸太、竹など
を等間隔に配置し、その上に板を
はったもの。



格(ごう)天井
()

角材を格子状に組み合わせ
て、その中に板を縦横にはりあ
わせたもの。



網代(あじろ)天井
()

魚を捕る網代に似ている。竹、
杉などで編(あ)んだもの。天井
の一部に装飾的(そうしよくてき)
に使われる。

とこ ま
床の間は日本建築の顔です

数奇屋の間



床の間って、何をするとところかな？



和の部屋豆知識③ 床の間の歴史

床の間の初期の姿は、鎌倉時代末（14世紀）ころの絵巻物にみられます。壁に掛け軸を掛け、その前に花びんと机が置かれています。また禅宗のお寺で、壁に仏画を掛け、その前に仏具を置き礼拝の場としたという記録がみられます。

室町時代（15～16世紀）には、中国から渡ってきた「唐物（からもの）」といわれる特別な品物を飾るため、格式の高い書院（しゅいん）飾りの床の間ができました。掛け軸や茶道具、文房具の飾りかたの本もでき、床の間の形が整えられていきました。

床の間の形がほぼ出来上がったのは桃山時代以降（16世紀）です。茶道を大成した千利休（せんのりきゅう）の生んだ「わび茶」の世界では、シンプルな**数寄屋（すきや）**風の床の間が作り出されました。一方、大名家の床の間は、富や権力を競う華やかなものとなっていました。

とくに床の間は、お客様へのおもてなしの心を演出する場となったのです。現在は、伝統的な床の間の形式を基本に、家の主人の好みを加えた、さまざまな床の間がみられます。



書院の間



床の間は2つの和室のどちらにもありました。でも、よく見るとちがうようです。左と右のページの写真を見て、ちがいを書いてみましょう。



	数奇屋の間	書院の間
①床板の敷きかた	()	()
②付書院の有無	()	()
③床柱の形	()	()
④天袋の有無	()	()
⑤地袋の形	()	()
⑥その他	()	()



床の間も木や紙、土できているよ。自然のものだ。

床の間の掛け軸や花も、それぞれの季節にふさわしいものが飾られます。
それは自然の四季の変化に敏感(びんかん)な日本人ならではの、お客様に対する、細やかなもてなしの心なのです。



日本の建物って、全部自然のものが使われているんだね。

自然と共に生きる、という日本人の思想や知恵が、日本の建物に生きています。
目には見えないけれど、まだまだ自然のものを取り入れています。

ガラス戸を大きく開けてみましょう。

気持ちいい風が入ってきたよ。
冷房よりさわやか。

欄間(らんま)に菊の花や鳳凰(ほうおう)のすかしが入っているけど、これは、風通しや明かり取りにもなります。美しさと機能性を兼ね備えているのです。



ガラス戸を閉めてそばにいれば

窓が大きいから、おひさまがたくさん当たってポカポカ。暖房より心地いいね。

窓を通して見る庭がきれいだね。

庭の景色も、建物のデザインの一部です。
窓が一枚の大きな風景画のようですね。

掛け軸を知ろう

7,8,9 ページで床の間のことを学んだけれど、床の間に掛かっている掛け軸ってどんなものだろう？

美術品にはいろいろな種類があって、それぞれのあつかい方があつけれど、ここでは**掛け軸**のことを知って、実際にあつかってみましょう。

掛け軸って何でできているの？

掛け軸は、絵や書がかかっている**本紙**(ほんし)と、本紙の周りを飾る**表具**(ひょうぐ) (表装) からできています。

本紙は、絹などの動物繊維や、麻、和紙などの植物繊維でできています。

掛け軸の絵や書は、どんなものでかかっているの？

鉱物が原料に多く使われる顔料(がんりょう)、墨、染料(せんりょう)です。顔料は、動物(とくに牛)の皮などから抽出した膠(にかわ)を接着剤(せっちゃくざい)にして、本紙の上につけています。



がんりょう
顔料



すみ
墨

すずり
硯



にかわ
膠

日本画の材料・用具



掛け軸のいいところは？

掛け軸は、普段軸に巻かれて収納されます。これは光や熱に弱い本紙や顔料の変化を最小限におさえることができます。また、コンパクトになるので収納に便利です。

掛け軸をあつかう前のポイントは？



① アクセサリーや時計などをはずし、ポケットの中の手帳や携帯電話なども全部出します。掛け軸に落ちたり、引っかかったりすると危ないからです。



② 掛け軸以外のものに気をとられないよう、周りにもものを置かないようにしましょう。

掛け軸は、とても繊細な材料からできているので、何より、心静かに丁寧(ていねい)に扱うことが大事です。



軸を掛けてみよう



自在(じざい)



矢筈(やはず)



毛叩き(けばたき)

軸を掛けるのに必要な用具



① 自在を掛け、高さをおおよそ決めておきます。



② 軸を両手で軸箱から出します。表具をつかまなくて、軸端を持ちます。



③ 巻緒(まきお)をほどき、掛緒の一方に寄せます。巻尾をほどくとき、軸を転がさないように。



④ 風帯(ふうたい)がある場合は、たたまれている風帯をのばします。



⑤ 矢筈を掛緒にかけ、10cm くらい開きます。



⑥ 自在のフックに掛緒をかけます。片手で軸をとり、矢筈を掛緒からはずします。矢筈は壁に立てかけるか、近くの人に受け取ってもらいます。



⑦ 両手で軸端を持ち、下まで静かにおろします。



⑧ はなれたところからみて、曲がっていたらまっすぐに直します。

軸を巻いてみよう



①表面のちりを払います。柔らかい毛ばたき(だちょうの毛がよい)で、本紙に直接ふれず、毛ばたきで起こす風でちりとばします。



②軸端を両手で取り、巻き上げます。表具の端がそろるように。



「たけのこ巻き」になったときには、巻き戻してからもう一度巻き上げます。端をそろえようと押し込まないように。絵の具が落ちたり、すれたりするからです。



③本紙が巻かれたら、片手で軸を持ち、矢筈の先を掛緒に掛けて、自在のフックからはずします。



④軸を平らなところに置き、風帯を折り目通りにたたんで、



⑤最後まで巻き込みます。



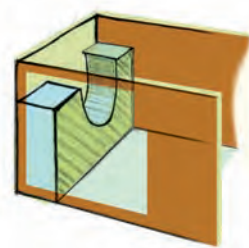
⑥ひもで傷つくのをおさえるため、巻緒の下に巻どめをつけ、



⑦巻緒を柔らかく巻きつけます。…きつく巻くと、表具や本紙にしわをつくり、絵の具がはがれ落ちる原因になります。



⑧軸を箱に収めます。



⑨軸箱の内側に、軸端を掛ける枕がついています。枕木の幅の広いほうに、表具の上部が来るように納めます。

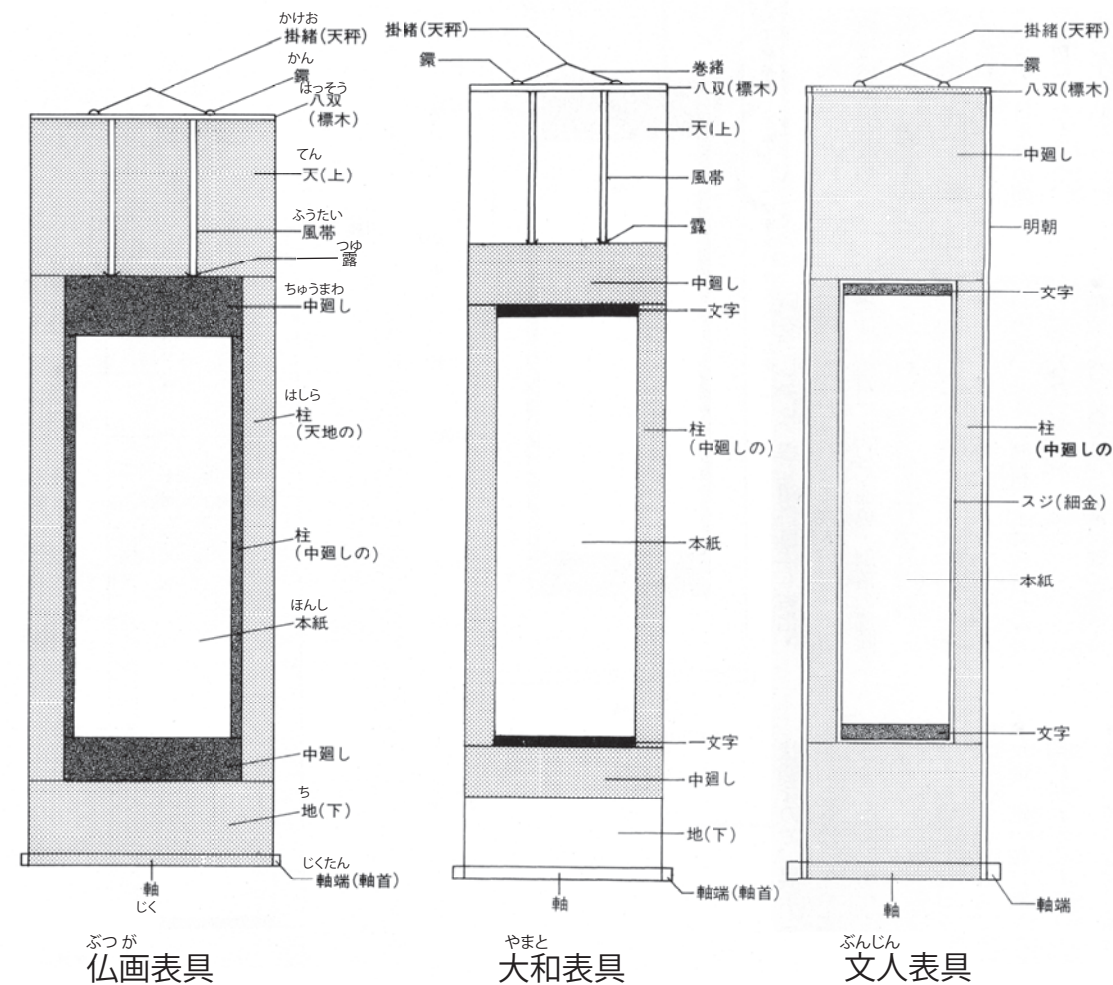


⑩箱の中に防虫香(ぼうちゅうこう)を入れます。…紙や糊(のり)を食べる虫などが入るのを防ぐためです。

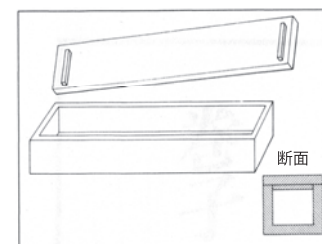


⑪温度、湿度の安定した、風通しのよい場所に保管しておきます。

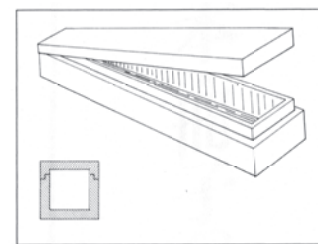
掛け軸の種類



軸箱の種類

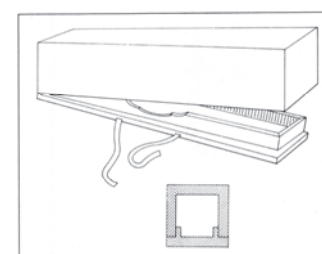


さんぶた 棧蓋造り

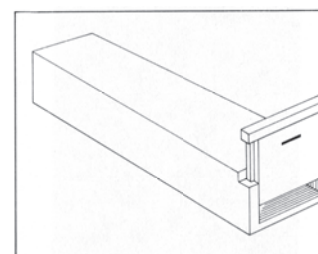


いんろう 印籠造り

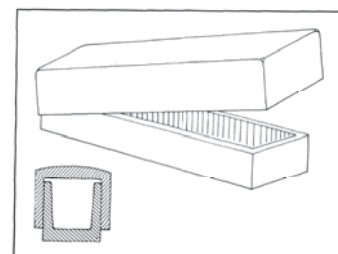
ふたと身の形のちがいで名前がちがいます



だいざ 台差し造り



おぶた 落とし蓋造り



かぶ 被せ蓋造り

隆泉苑Q&Aコーナー



建物と庭は誰がつくったの？



佐野隆一という人です。
佐野美術館をつくった人です。



建物の名前は？名前の意味は？



「隆泉苑(りゅうせんえん)」といいます。佐野隆一の「隆」、三島の水の「泉」から名づけられました。
平成9年には、国の有形文化財として登録されて、この建物のすばらしさが国にみとめられました。



どのくらい前につくられたの？



昭和10年(1935)ころです。
今から75年くらい前です。



こんなすごいものを作った人のことを、もっと知りたいな。



『隆泉苑ガイド3』を読んでみましょう。



どうして作ったの？



お父さん、お母さんのために、感謝の気持ちを込めてつくりました。
大工さんに直接指示したのはお父さんの米吉さん。米吉さんが材料を厳しく選んで、当時最高の職人の技を集めて建てられました。



〔主要参考文献〕

『日本座敷の工法』佐藤日出男著 理工学社
『床の間の意匠と工法』鶉 功著 理工学社
『物語・ものの建築史 床の間のはなし』
山田幸一監修 前久夫著 鹿島出版会
『物語・ものの建築史 畳のはなし』
山田幸一監修 佐藤理著 鹿島出版会
『土壁・左官の仕事と技術』
佐藤嘉一郎・佐藤ひろゆき著 学芸出版社
『別冊太陽 和紙と暮らす』平凡社
『美術工芸品の取扱い方』鷲塚泰光監修 丹青社

MEMO

学校名: ()年()組 名前: